

福音の園だより

平成十八年度「高齢者雇用優良事業所協会会長賞」受賞
TBSラジオ『メイノスイキモーニング』取材紹介

グループホーム・デイサービス介護保険事業者指定
3500016 埼玉県川越市木野目一八七八番地一

特定非営利活動法人 **福音の園・埼玉 事務局**

☎049-230-1111 (Fax 230-1112)

福音の園 Gospelgarden は、有限会社シャロンの商標

ご家族の声

大好きな音楽に体で反応する姉

先日は久しぶりに実家に帰った妹なり娘？といった感じで、長時間お邪魔いたしました。お昼を頂いて約4時間の面会は、姉との触れ合いに加え、デイサービスに見えていた89歳の女性の方や、私と同じようにお姉さんの面会に見えた妹さんとの楽しい語らいも沢山あって、またしても癒されて帰る私でした。ホーム長さん始めスタッフの皆様の崇高な信念の下、たまに居合わせた家族同志の交流にも心をくだき、大なり小なりある家族の後ろめたさをも払拭させる温かさ、究極なものと思われます。音楽療法の「ピアノの会」では驚きの発見をしました。全面介助を受けている姉の両手の指先が、目の前の机の上を完璧なリズム感で叩き、拍子を取っているのです。姉の幸せな気分がそこにあり、大変感激いたしました。これまでに、ホーム探しに奔走してくれ、精一杯面会をしてくれる姪（亡兄の愛娘）を始めとして、他の親族と共に、福音の園様へ感謝をいたします。（〇〇〇〇）

川越市社会福祉審議会委員 拝命に寄せて

市民の福祉向上に寄与することを目的に

グループホーム 福音の園 川越 ホーム長 杉澤 卓巳

これまで二年間「川越市社会福祉審議会委員」を務めてきた。昨年十二月、次期社会福祉審議会委員の公募について案内通知された。そこでテーマ『川越市の福祉施策の推進に関する意見または考え』を次のように記して応募した。

川越市の福祉施策の推進に関する考え

二年前、「平成21・22年度川越市社会福祉審議会委員募集」に応募。同社会福祉審議会・地域福祉専門分科会委員を拝命。二年間、社会福祉審議会に出席してきた視点から、本テーマについて記したい。

数年前から予測されつつも「人口の減少」「経済の停滞」などで「右肩上がりの成長」が期待できないと誰の目にも自明となった。さらに、地域社会を取り巻く環境も「少子・高齢化」「核家族化の進行」「地域における社会関係の希薄化」などが顕在化してきた。こうした課題山積の中で『誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり』を推進しようと、社会福祉審議会を開催し地域福祉活動計画策定に取り組んできた。

事務局の労により、昨年11月22日開催の合同会議において「第三次川越市地域福祉活動計画（素案）」が提起された。席上、議長が出席委員各位を指名され、意見感想を求められた。複数委員より「良く出来ているが、現実はその簡単なものではない」「旨の悲観的な発言が相次いだ。先輩諸氏の言葉に落胆しながら、「私は認知症高齢者施設事業所管理者として、職員の資質向上の為、これをテキストにして活用したい」と申し上げた。会場の空気を変えたいと思ったからだ。」「推進」という漢字は「おしすすめること」と説明

されている。取り巻く環境が閉塞感で満ちていけばいほど、市民を代表して構成される審議会委員には「いちらの望み」を見出し、これを突破口にして各自が置かれている地域住民に対して活動計画を発信せねばならない責務が課せられている。

『変えられないのは他人と過去。変わるの自分と未来』という名言がある。マイナスイメージの発言が相次ぐ中、課題を直視しながら「希望ある発信」をしていきたいと切望している。「自分」を変えようと努力しようとする意識の改革こそが「福祉施策の推進」であると確信している。

「園芸療法の日」ボランティア体験者の声

リラックスした雰囲気印象的

初めて園芸療法のボランティアに参加させていただきました。今回は、気温が寒く外でのワークが難しいとのこと、室内でのクラフトワークでしたが、ご利用者のみなさんがよい表情で、リラックスして楽しんでいらつしやるのが伝わってきました。

花壇やお庭も車椅子対応だったり、何よりも園芸療法のみなさんも含め、施設の方々の暖かい人柄、施設のリラックスした雰囲気がとても印象的でした。居心地のよい空間だと感じました。また、小さなクラフトでも、作る喜び、みんなと共有する喜びを感じられました。もっと園芸療法を勉強したいと思えます。また参加させていただきたいです。ありがとうございます。（〇〇〇〇様・三月九日に参加）



来訪歓迎

視察

〇〇〇〇様（静岡市）

御礼

扇子

（株）近江屋呉服店様（蕨市）

（七夕用）笹竹

〇〇〇〇様（川越市）